


新着情報 ～和田教授が東温市にて2月6日講演を行いました。～

地域創成研究センター兼法文学部教授の和田寿博教授が、2月6日東温市中央公民館にて、市民や学生らを対象に、愛媛大が文科省の採択を受け実施している「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」の一環で、まちづくりに関する公開講座を行いました。

	地域見る新たな目を
愛媛大 まちづくり指南 東温	<p>企業、市民、行政が共に手掛けるまちづくりをテーマにした愛媛大の公開講座が6日、東温市田窪の市中央公民館であった。法文学部の和田寿博教授が、観光スタイルの流れや東温市のまちづくりについて講演した。</p> <p>和田教授は「観光の先進国といわれるインドネシアやタイでは、観光名所を築しむことから、農村への滞在や野菜の収穫体験などにスタイルが変わりつつある」とし、「これらの観光は、何かがあつてそこに行くというのではなく、既にあるものを見いだすこと」と解説した。</p> <p>「『観光やまちづく</p>
」観光やまちづく	<p>東温市には愛媛大医学部があることなどから、健康や医療、福祉などとの連動も観光の鍵になるとアドバイザー。市内の特産物を使ったスイーツなども紹介した。</p> <p>講座は愛媛大が文部科学省の採択を受け進める「地（知）の拠点整備事業」（COC事業）の一環。市民や学生ら約50人が参加した。（石川美咲）</p>

(愛媛新聞 平成 28 年 2 月 8 日 地方面掲載)